

新作百人一首替え歌 その 5(84,29-34)

青野正宏

順番を変えて 84 番を先行

昭和のあのころ、巨人はきらいだが長嶋だけは好きだという人が多くいた

長嶋は 今あのごろや 偲ばれる アンチ巨人も 彼は恋しき

84 ながらへば またこのごろや しのばれむ 憂しと見し世ぞ 今は恋しき

キャバクラであの娘 口説いてみるかな しかしナンバー1の売れっ子だから自分では無理か

こころあてに 口説くかやめか キャバクラの おきまどわせる 売れっ子の花

29 心あてに折らばや折らむはつ霜の 置きまどはせるしらぎくの花

有明アリーナを見にいったけれど 押し活のファンばかりでそれが良いというものもいるがつまらん

有明の アリーナ行きて わかったは 押し活ばかり 良きものはなし

30 有明のつれなくみえしわかれより 暁ばかり憂きものはなし

老化防止には運動が一番だ

朝からの 運動成果 見るまでに 良し健康に フレール知らずよ

31 朝ぼらけ有明の月と見るまでに 吉野の里に降れる白雪

病気が長引いて寝てばかり 彼女にも永くあっていないなあ

やまいにて ふとんかけたる寝床中 ながくも会えぬ 彼女なりけり

32 山川に風のかけたるしがらみは 流れもあへぬ紅葉なりけり

狂歌というより和歌になっちゃった

朝方の 光さしこむ 春の日に 静かな森に 鳥の声らむ

33 久方の光のどけき春の日に しづ心なく花の散るらむ

情報過多の時代 何を信ずればよいのか？

だれをかも しる人にせむ SNS オールドメディアも 信ならなくて

34 誰をかもしる人にせむ高砂の 松もむかしの友ならなくに

ANEX

あのひとだあれ たれでしょね

センセン 選挙で立つつもり

ハシゴを外され 怒ってる 山尾の シオチャンじゃないでしょか